

蓬菜島 (六卷)

帝キネ声屋現代映畫

原作脚色者 木村一馬氏  
監督者 古海卓二氏  
撮影者 山口禎氏

主要役割

村上進吾 瀬川銀湖氏  
速見六郎 藤間林太郎氏  
島の若者 松本泰輔氏  
島守五兵衛 高堂國典氏  
姫お浜 澤蘭子嬢  
川瀬初子 鈴木信子嬢

(略筋省略)

北山地方の大地震を背景とした譚りであるが、作者が狙ったヤマが見透して居るので、興味を唆らうと試みた場面も見る者には至つて感銘の薄い映畫である。古海卓二氏の監督も観客の情氣を防ぐべく餘りに平凡であるが大地震の場面は上出来で、好く氣分を出して居る。従來地震を背景とした日本映畫の内最も優れた出来と云へる。瀬川銀湖氏の村上と藤間林太郎氏の速見とは全然役違ひである。情實でやむを得ず醜化したのだらうが心得ちがひの事と思ふ。澤蘭子嬢のお浜は出来が悪く殊に村上が墮落する際の表情など誇張も甚しい。そして拙劣なものであつた等如何した事であらう。松本泰輔氏の島の若者は性格がばつさりしない役で演りにくそうである。高堂國典氏の島守は樂なものである。興行價値——一般的に受ける譚りではないが、地震の場面などで客を幾らかは吸引出来やう。(七月十五日、大阪芦邊劇場封切)